

自然災害は、中小企業の海外事業を阻害する大きなリスクのひとつです。しかし、平時のうちから対策を講じておくことで、リスクが与える影響を軽減することができます。

近年、海外でも自然災害が猛威を振るっています。サイクロンやハリケーンによる風水害、地震や津波、火山噴火など、日本と同様、またはそれ以上の規模や頻度で発生する自然災害は、中小企業の海外事業を阻害するリスクのひとつです。

これらは、一企業ではコントロー

## 中小企業 海外展開のツボ

ルしがたいものですが、対策をあらかじめ講じておけば、減産や操業停止を免れる、またはその期間を短縮するなど、影響を軽減することができます。まず、進出先（進出前であれば候補先）の自然災害リスクに関する調査を実施しましょう。リスクを把握して初めて、必要な対策を立案することができます。

また、平時のうちから、情報の入

手先を整理しておきましょう。自然災害の発生時には、正確かつ最新の情報を入手することが求められます。情報源の例としては、現地政府や大使館、現地の日系企業、メディアなどがあります。

そして、リスク調査結果を基にリスクへの対策を立案し、実施しましょう。その際、施設や設備などハード面と、教育や訓練などソフト面の

# 自然災害 平時から対策を

SOMPOリスクアマネジメント 横山 歩氏  
ERM事業部上席コンサルタント

両面から対策を講じることが重要です。

ハード面の対策例としては工場や事務所の耐震補強、防水壁の設置、データのバックアップなどが挙げられます。ソフト面の対策例は対応マニュアルの整備、従業員に対する教育・訓練などがあります。

対策は定期的に見直し、必要に応じて改善を図りましょう。

### 自然災害への対応のポイント

#### ①リスクを把握する

海外拠点（または拠点候補地）にはどのような自然災害リスクがあるかを調査する

#### ②情報の入手先を整理しておく

正確かつ最新の情報を入手できる情報源を整理しておく（リスト化しておくとうよい）

#### ③対策はハード面とソフト面を意識する

災害に強い工場や事務所にするとともに、教育や訓練を通じて従業員の対応力を養う

2017年4月3日  
日経産業新聞